

まちづくり交付金 事後評価シート  
上田城下町地区

平成22年3月

長野県上田市

様式2 - 1 評価結果のまとめ

都道府県名	長野県		市町村名	上田市		地区名	上田城下町地区			面積	795ha		
交付期間	平成17年度～平成21年度		事後評価実施時期	平成21年度		交付対象事業費	5,498	国費率	0.41				
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名										
			基幹事業	市道中常田小牧線、市道諏訪部伊勢山線、市道秋和踏入線、市道南天神町常田線、市道上田橋下堀線、市道北天神町線、準用河川前川、ウォーキングトレイル整備									
	当初計画から削除した事業		提案事業	中心市街地観光推進事業、ウォーキング支援事業、上田城千本桜観光推進事業									
			事業名			削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響				
	新たに追加した事業		基幹事業										
			提案事業	まちづくり協議会等支援事業			既に自立して継続的な活動を行っており、まちづくりを積極的に推進しているため。			影響なし			
交付期間の変更		当初	平成17年度～平成21年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響								
		変更	-										
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	指標1	中心市街地商店街の歩行者数	人	1,547	平成15年度	1,650	平成21年度	1,198	982	×	あり	道路環境の整備は出来たが、大型店の郊外立地などによる買い物客等の流出を止めるまでに至らなかった。	平成22年6月頃
	指標2	中心市街地商店街の空き店舗数	件	25	平成15年度	28	平成21年度	28	28		あり	ここ数年は横ばいで推移しており、増加傾向に歯止めがかかった。	平成22年6月頃
	指標3	交通事故件数	件/年	160	平成15年度	140	平成21年度	130	114		あり	交差点改良や歩道の整備により、交通事故件数を抑制することができた。	平成22年5月頃
	指標4	河川流下能力	m/s	21.5	平成15年度	28	平成21年度	28	28		あり	事業の実施により、目標としていた流下能力が確保できた。	-
	指標5	鉄道輸送人員	万人	123	平成16年度	126	平成21年度	124	124		あり	目標の達成は困難な状況だが、計画的な支援により、一定の成果が見られる。	平成22年5月頃
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	その他の数値指標1	上田城千本桜まつりの入込客数	万人	11	平成16年度			26	38			入込客数は増加しており、街なかへの回遊性の期待もてる。	-
	その他の数値指標2	別所線事故件数	件	7	平成11～15年度				4			安全対策関連の設備投資や基盤整備により、安全性の確保が図られ、事故件数の減少に寄与している。	-
その他の数値指標3													
4) 定性的な効果発現状況	上田城千本桜まつり、真田口マンウォークなどの観光イベントの充実により、県外からの観光客、参加者が増え、「真田氏」や「上田城」を中心に上田市をPRすることができた。 河川改修により、水害による住民不安の解消が図れた。												
5) 実施過程の評価	実施内容					実施状況					今後の対応方針等		
	モニタリング	H20年度にモニタリング実施、事業進捗の確認、指標の計測手法、達成見込等の確認、指標と事業の関連性(貢献度)の確認				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					事業の目標達成への貢献度について、次期計画ではモニタリングを都市再生整備計画に記載する。		
	住民参加プロセス	大学生を中心とした別所線駅前緑化・美化活動、交流拠点整備に係る観光協会、旅館組合、財産区等地元団体との調整会議				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					活動の継続性を図り、利用促進につなげていく。		
持続的なまちづくり体制の構築	まちづくり協議会等による沿道の定期清掃や緑化活動、屋外広告物の設置に対する商店街の景観協定の適用				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					引き続き商店街の魅力向上活動の一環として継続していく。			

## 様式2 - 2 地区の概要

### 上田城下町地区(長野県上田市) まちづくり交付金の成果概要

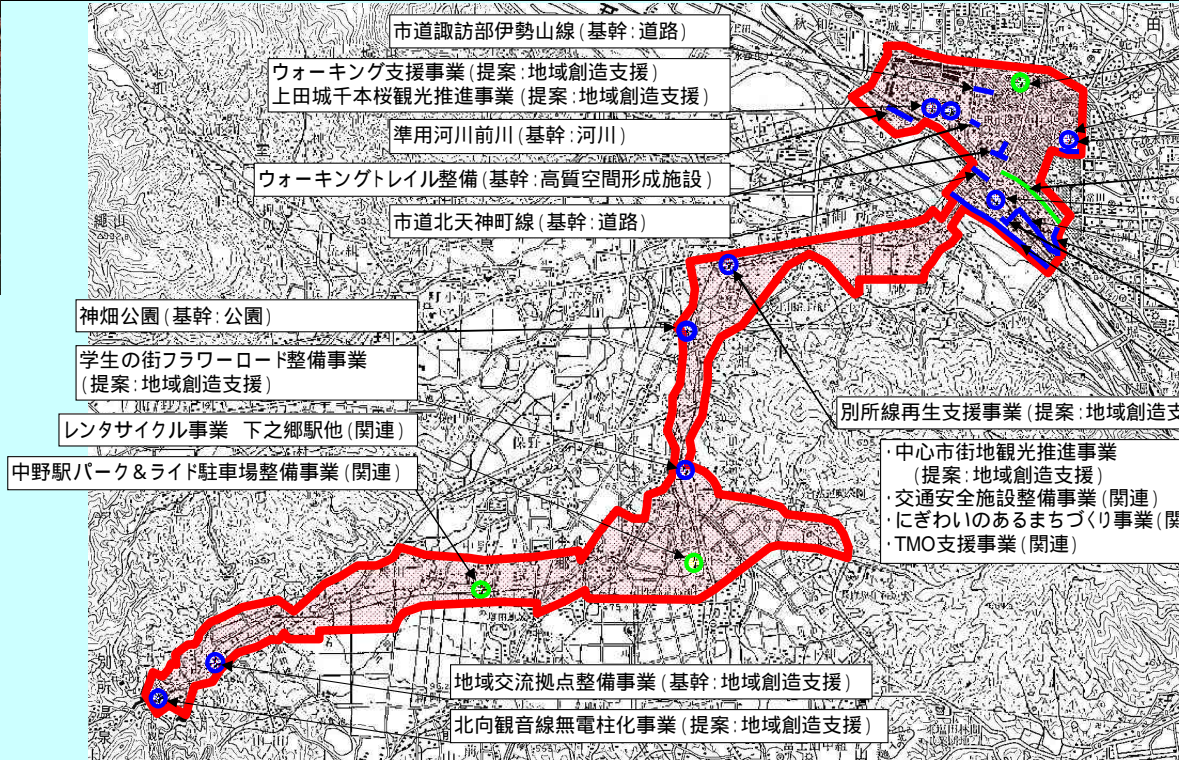
まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値	目標値	評価値			
歴史と自然を活かし、市民及び来訪者の利便性、快適性を高める都市基盤整備を図り、市民協働による中心市街地の再生を目指す。 道路及び公共交通機関の交通体系を総合的に整備し、充実による利便性と快適性の向上 市民協働による、中心性、求心性の高い市街地の再生 安全性の高い道路整備 水害に強く、安心安全なまちづくり	中心市街地商店街の歩行者数	単位: 人	1,547	H15	1,650	H21	982	H21
	中心市街地商店街の空き店舗数	単位: 件	25	H15	28	H21	28	H21
	交通事故件数	単位: 件/年	160	H15	140	H21	114	H21
	河川流下能力	単位: m/s	21.5	H15	28	H21	28	H21
	鉄道輸送人員	単位: 万人	123	H16	126	H21	124	H21



【上田城千本桜観光推進事業】



【地域交流拠点整備事業(あいそめの湯)】



- 街なみ環境整備事業(関連)
- 総合保健センター整備事業(提案:地域創造支援)
- 市道材木町線(基幹:道路)
- 電線類地中化事業(関連)
- しなの鉄道再生支援事業(提案:地域創造支援)
- 市道秋和踏入線(基幹:道路)
- 市道中常田小牧線(基幹:道路)
- 市道南天神町常田線(基幹:道路)
- 市道上田橋下堀線(基幹:道路、高質空間)



【市道中常田小牧線】

まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上田駅周辺の環状道路網が整備され、中心市街地の交通渋滞が解消されるとともに、駅周辺へのアクセスが強化された。</li> <li>・道路環境の整備、街なか歩行者空間の高質化など、魅力あるまちづくりのベースは整備された。</li> <li>・安全性の確保、パークアンドライド駐車場整備、別所線再生支援協議会等による利用促進策の成果もあり、H18年度からわずかではあるが増加に転じた。</li> <li>・河川事業の実施により、計画した流下能力の確保ができた。</li> </ul>
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中心部へのアクセス性を高める主要骨格道路の整備が必要である。</li> <li>・高齢者、車椅子、自転車が安全に通れる道路環境の整備を進める。</li> <li>・別所線再生支援計画に基づく支援を継続し、安全運行の確保と利用者の利便性向上を図る。</li> <li>・市民参加によるにぎわいのあるまちづくりと、民間の自由で柔軟な発想を活かした魅力あるまちづくりを推進する施策の検討が必要である。</li> <li>・上田城を中心に増加する観光客の中心市街地への誘導を図る。</li> </ul>